

【議題 2】令和 7 年度豊田市高齢者等実態調査等の実施概要について
(報告事項)

1 実施概要

令和 8 年度に第 10 期計画を策定するための準備として、以下の内容を実施する。
今回の実態調査では、調査結果と本市の各種データに基づき地域分析を行い、第 10 期計画の策定に向けて課題や対策を設定することをねらいとしている。
＜内容＞・高齢者等実態調査の実施、データ集計・分析、クロス集計等分析
・統計データの分析及び人口推計・認定者推計の算出
・地域分析及び課題と第 10 期計画策定のための対策

2 スケジュール

時期	内容
7 月下旬～8 月中旬	調査票の作成・印刷
9 月上旬～10 月下旬	調査票の送付・回収
2 月下旬	分科会委員へ調査結果報告書案（概要版・本編）送付
3 月 13 日（金）	第 2 回高齢者専門分科会 ＜議題（案）＞ ・豊田市高齢者実態調査の結果（報告） ・第 10 期計画策定方針案、策定スケジュール案（協議）

3 高齢者等実態調査の方法

以下①～⑤の国の調査（必須項目）及び市独自質問を設定し、実施する。
今回の実態調査では、①～⑤の調査を全て実施することにより、他自治体との比較をしやすくすることに重点を置いている（前回までは独自質問中心で実施）。

調査名	対象	目的・主な調査項目	ねらい
① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	a 一般高齢者 3,000 件 b 要支援者等 2,000 件	【目的】要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域の抱える課題を特定する。 【調査項目】運動、食事、生活、地域活動、健康、幸福感	○介護予防・健康づくり ○体制整備 ○認知症支援

②在宅介護実態調査	要介護認定者 2,000 件	【目的】介護保険サービスの利用実態を把握し、在宅生活の継続や介護者の就労継続等に資する取組を検討する。 【調査項目】施設等の検討状況、介護者が不安を感じる介護、保険外の支援・サービス、介護者の離職防止	○体制整備 ○認知症支援
③在宅生活改善調査	a 居宅介護支援事業所等 100 件 b ケアマネ 300 件	【目的】現在のサービスでは生活の維持や介護者の就労継続が難しくなっている理由を把握し、在宅生活の継続や介護者の就労継続につながる取組を検討する。 【調査項目】自宅等から居場所を変更した人について（行先）、生活の維持が難しくなっている利用者について	○体制整備 ○認知症支援
④居所変更実態調査	介護施設等 100 件	【目的】要介護者が住み慣れた住まいで暮らし続けることができているかを実態把握し、各施設・居住系サービスでの生活の継続性を高めるために必要な機能を検討する。 【調査項目】新規の入居者（前の居場所）、退去者（退去先、退去理由）	○体制整備
⑤介護人材実態調査	介護サービス事業所 400 件	【目的】介護人材の実態を把握し、職員の確保・定着、育成、業務改善に必要な取組を検討する。 【調査項目】採用・離職、介護職員（属性・勤務時間・訪問介護の内容）	○体制整備

※各質問項目については、8 月上旬に国から提示される予定。

4 地域分析等の実施方法

- ・高齢者等実態調査の結果及び各種統計データ（地域包括ケア「見える化」システム、保険者シート等）を踏まえ、分析を進める。
- ・必要に応じて関係機関等へのヒアリングを実施する。